平成21年５月８日

各　位

会 社 名　株式会社　栄光
代表者名　代表取締役社長　近藤　好紀
（コード番号　９７８９　東証第２部）
問合せ先
常務取締役総務本部長　神谷　賢治
電話番号　０４８（８３８）０３２１

平成21年３月期の営業外費用、特別利益及び損失に関するお知らせ

平成21年３月期における営業外費用、特別利益及び損失につきまして、その概要を下記の通りお知らせいたします。

当社グループは、現在、中期経営計画「EIKOH Group New Plan」（平成20年３月期より平成22年３月期までの３ヵ年計画）に基づき、中核事業である「教育事業」「教育ソリューション事業」への経営資源の集中を進めております。本件は、同計画推進の一環として「その他事業」の見直し、グループの財務体質の強化を図ったことが主たる要因であります。

記

１．平成21年３月期の営業外費用

①営業外費用

営業外費用につきましては、単体1,046百万円、連結537百万円となる見込みであります。

営業外費用の主なものは、次のとおりであります。

貸倒引当金繰入額	674百万円（単体）	
支払利息	164百万円（単体）	197百万円（連結）

２．平成21年３月期の特別利益及び損失

①特別利益

特別利益につきましては、単体218百万円、連結299百万円となる見込みであります。

特別利益の主なものは、次のとおりであります。

受取解約違約金	146百万円（単体）	200百万円（連結）

②特別損失

特別損失につきましては、単体2,073百万円、連結2,431百万円となる見込みであります。

特別損失の主なものは、次のとおりであります。

減損損失	755百万円（単体）	829百万円（連結）
投資有価証券評価損　※	381百万円（単体）	382百万円（連結）
役員退職功労金	228百万円（単体）	228百万円（連結）
固定資産除却損	225百万円（単体）	241百万円（連結）
関係会社株式評価損	142百万円（単体）	
関係会社整理損	135百万円（単体）	
たな卸資産評価損	129百万円（単体）	
貸倒引当金繰入額		432百万円（連結）

※「投資有価証券評価損」につきましては、「投資有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、平成21年３月期第４四半期において減損処理による投資有価証券評価損として下記の通り計上しております。

平成21年３月期第４四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
（A）平成21年３月期第４四半期会計期間（平成21年１月１日から平成21年３月31日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	141　百万円	134　百万円
（イ）平成21年３月期（平成20年４月１日から平成21年３月31日まで）の投資有価証券評価損の総額	381　百万円	382　百万円
（ロ）直前四半期（平成21年３月期第３四半期）累計期間（平成20年４月１日から平成20年12月31日まで）の投資有価証券評価損の総額	240　百万円	248　百万円

＊四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
＊当社の決算期末は、３月31日であります。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
（B）平成20年３月期末の純資産額	9,403　百万円	9,939　百万円
（A／B×100）	1.5　%	1.3　%
（イ／B×100）	4.1　%	3.8　%
（C）平成20年３月期の経常利益額	2,080　百万円	2,471　百万円
（A／C×100）	6.8　%	5.4　%
（イ／C×100）	18.3　%	15.5　%
（D）最近５事業年度の当期純利益の平均額	384　百万円	575　百万円
（A／D×100）	36.7　%	23.3　%
（イ／D×100）	99.2　%	66.4　%

＊最近に終了した事業年度の当期純利益が10億円未満であるため、当期純利益額は最近５事業年度の平均となっております。

なお、業績に与える影響につきましては、本日付で「業績予想の修正及び今後の見通しに関するお知らせ」を発表しておりますので、併せてご覧ください。

以　上